

彦根市総合計画審議会 会議録要旨

彦根市総合計画審議会第1回調整会議		
日 時	令和3年5月28日(金) 10:30~12:00	
場 所	オンライン会議	
出席者	審議会	別紙のとおり
	市職員	審議会事務局(企画振興部長、同次長、企画課長補佐、同主査)
欠 席 委 員	なし	

会議録の確定	
署名 (審議会会長)	

1. 開会

[司会]

それでは、ただ今から、彦根市総合計画審議会第1回調整会議を開催させていただきます。

私は、企画振興部次長の馬場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の調整会議は、12時を目途に終了させていただきたいと存じますので、会議が円滑に進行できますよう皆様のご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の調整会議には該当するすべての委員様にご出席いただいておりますのでご報告いたします。

また、本日の会議はオンラインでの開催となりますので、発言の際には、議長にお声がけいただき、議長の許可を得ていただきまして、お名前を言っていただいてから発言をお願いいたします。

それでは、これからの議事の進行は、会長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

[会長]

皆様、ご多忙の中、ご参加いただきましてありがとうございます。

すべての部会長様、副部会長様にご出席ということですが、オンラインということで司会も不慣れな点があると思いますので、その点をご指摘いただきながら円滑に議事を進められればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

既にご承知のとおり、本会議は彦根市総合計画審議会の各部会で審議されている事項につきまして、部会間にまたがる課題や統一的な取り扱いを要するものなどについて、調整する場として設けられております。

各部会長様・副部会長様におかれましては、部会における議論をふまえて、ご議論をいただきますようよろしくお願いいたします。

議論の進め方としましては、まず事務局の方から各部会で挙げられました課題について、似たようなご意見はまとめて、対応案等を検討いただいておりますので、それをまず事務局から説明していただきます。そして、項目ごとに順番に議論していく形で、どうするかということを調整できればと思っております。何かこの点でご意見があればお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。議論の進め方として、それでよろしいでしょうか。

(委員承認)

それでは、そのような形で進めさせていただきます。

2. 議題

(1) 調整すべき事項について

[会長]

それでは早速ですが、議題(1)「調整すべき事項について」事務局より説明をお願いします。

[事務局]

それでは、資料のC1-2で今回の議論の内容を整理させていただいておりますので、ご説明させてい

ただきたいと思います。

「調整会議における調整事項の整理」という名前になってございまして、第1回会議で出ました調整会議にかけるべき事項について事務局の方で整理をしたものでございます。

まず1ページ目、全体の構成等についてというところでございますけれども、こちらに関しましては、いずれも第4部会からご意見をいただいたものでございます。

1項目目が、現在の計画との対比でありますとか、どういったものが加わったのかということを知りたいということでございました。こちらに関する対応といたしましては、第2回の会議資料において、新旧計画の施策の対比表や行政評価という形で、現在の進捗状況がわかるものを提供させていただいております。

続きまして2項目目ですが、各計画の掲げる図やダイアグラムなどを総合計画の方にも入れていくべき、総合計画の基本計画の方で、図などを加えるということでございます。こちらに関しましては、事務局といたしましては、現行計画では取組のトピックス写真等を掲載している程度でございますので、基本的に図などは個別の計画に委ねまして、総合計画の基本計画は簡潔な文章に留めたいと考えているところでございます。

続きまして2ページ目でございますけれども、書きぶり・表現についてということで、現状と課題という項目に関してでございます。まず1点目が、文章量の均一化を図った方が良いのではないかとこのところでございます。文章量に関しましては、分野毎に取組の数などに差異がございますので、現在のところ事務局としまして均一化する考えはございません。

続きまして2点目でございます。語尾の使い分けでございますけれども、「～必要があります」、「～求められます」などの語尾の使い分けはどうかというところでございます。現状では、各担当課に表現を任せておりますけれども、表現を統一した方が良い場合は、事務局で表現方法の基準を作成して統一したいと思っておりますので、ご意見いただければと思います。

さらに、彦根市ならではのポイントとか、課題について、今どんな問題があって、どんな課題・解決すべきことがあるか、あるいは文によってトーンの違いがあるというところでございますけれども、こちらに関しましては、より具体的に書くか、大きな方向について書くかということに関して、施策によって差が生じる部分も一定ございますので、統一的な表現が難しいということも現在想定しているところでございます。もし、工夫ですとかアイデア等についてご意見がございましたら、お聞かせいただくと助かります。

続きまして、現状と課題をそれぞれ分けて対応させる書き方の方がわかりやすいのではないかとこのところご意見をいただいておりますけれども、こちらに関しましては現在のところ、現状と課題が一致しているという場合もございますので、現在の書き方にしており、施策によって現状と課題が一致している場合は、2つをそのまま2回書くこととなりますので、分量が多くなって若干読み手が読みにくいかなというところがございますので、できれば現行のままでいかせていただければと考えているところでございます。

続きまして、3点目の書きぶり表現についての続きでございます。まず1点目は「12年後の姿」というところですが、それぞれ指摘事項としては3つございまして、1つ目が「何々をめざす」という方向ではなく、「こういう姿になっている」という状態像を記載するべきではないか、あるいは、抽象的な内容になっているため、具体的にイメージできるような表現が良いと思う、「どのようになっている」

と記載した方が読み手には理解しやすいのではないかとこのところ、こちらは正に調整会議で調整いただく必要があるところかと思っております。各部会で今回作成させていただいた際に、事務局の記載例で「～といった状態をめざします」という表現を用いておりましたので、「～をめざします」という表現が多くなっているのですが、バックキャストで考えるのであれば、「～になっている」の方が適切ではないかというご意見もあるかと思っておりますので、この辺りのことについてご意見いただければと思っております。

続きまして「主な取組」のところでは、1点目が語尾の使い分けで、先ほど申しましたとおり、統一した方が良いという場合は、事務局で表現の統一方法の基準を作成しますので、ご意見をいただければと思っております。

さらに続きまして、既に行われているものとこれから新たに行っていくもの、「充実する」と書かれているものについて具体的な点が必要ではないかということ、重点的に行う必要のある項目、焦点化する項目を意識して書くべきではないかということですが、こちらに関しましては、ご指摘のとおりかと思っておりますので、継続するものについては基本的には充実する内容を具体的に記載するというところを図って参りたいと考えていますが、この点についてもご意見をいただければと思っております。

さらに「その他」で、カタカナ表記がたくさんあり、読みにくいというご意見があり、こちらに関しましては、なるべく平易な文章になるように努めて参りたいと考えております。

最後4ページの「部会で重複する内容(振り分け)当について」というところで、第1回会議で出た施策の振り分けについてのご意見を列記させていただいております。1点目が、高齢者福祉施策と公共交通施策の振り分けの点、2点目が、若者の移住施策と他の部会とのかぶりの点、3点目が、空き家の施策と若者の移住施策に関するすみ分けの点、4点目が、第3部会の産業分野と基盤の振り分けの点、最後は会長からご意見いただきました、分野や施策間でまたがる事項は「再掲」として、どちらにも記載することも考えられるということで、このようなご意見をいろいろといただいております。この点も、委員の皆様から補足やこうした方がいいんじゃないかということが現時点でございましたら、ご意見を頂戴できればと思っております。

最後、「その他」のところでございますけれども、「主な取組」の評価の対応に関しましては、現在も行政評価という形でさせていただいているのですが、新たな計画の評価の仕方についても今後検討して参りたいと思っております。また事務局の方でも今後検討していくということで考えております。最後の会長からいただいた意見ですが、バックキャストがどのように活かされているのかわからなかったというところがございますけれども、先ほど申しました3ページの一番上の「12年後の姿」のところ「何々をめざす」という表現が多いことから、バックキャストしているのかどうかかわからない感じになっている部分もあると思っておりますので、そういった点もご意見として頂戴できればと思っております。

[会長]

ありがとうございました。それでは順番に議論していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

まず、1ページ目の「全体の構成等について」の1項目目、これについてはいかがでしょうか。第2回の会議資料として、新旧計画の施策の対比表と令和2年度の行政評価を提供していますということ

で、これをご覧いただくことでいいでしょうか。何かもしご意見あればお願いします。では、まずはここでご確認いただいてということにしたいと思います。

それでは 2 項目目、既にご確認かと思いますが、現行計画では取組トピックスの写真を掲載ということですが、基本計画にはとにかく簡潔な文章で留めておきたいというご提案でございますが、何かございますでしょうか。

[委員]

部会での審議が、施策十数個を 3 回に分けて、「1 施策あたり表裏 1 枚をチェックしてこれでよろしいか」というような審議はいかがなものか。

1 項目目の件ですが、そもそもの組み立てとして新総合計画ではどう構成していくのかの議論もありませんでした。見直し型で行くとしても、どういう体系になっているのか最初に確認する、その上で、まず総括が必要ではないか。見直し型であるならば、「今まで施策がちゃんと出来ているのか」、「この後どういうところを引き継ぐか」、「どういうことを構想していくのか」といった点についての検証が必要ではないか。

2 項目目の件に関しても、事務局のイメージは表裏 1 枚で行きたいのかも知れませんが、まず部会の審議材料として不十分なのと、そもそも施策の柱となるものが表裏 1 枚の文章のみでよいのか。ひとまず提案させていただいたのは、少なくとも資料編でもいいしホームページのリンクでもかまいませんが、各施策が実際にどういう個別施策群とつながっているのかが見渡せないと、ただ文章のみの鑑を出しているだけでは骨抜きになるのではないかと。表裏 1 枚の内容を、実際の個別計画・事業へとどうつないでいくのかという道筋が、庁内はもちろん、市民レベルでも見通せるものにしていただきたい（単に「〇〇計画」「□□事業」と列挙するだけでなく）。

各担当課においても手直しして文章を揃えて終りということにならないよう、現行の総計に対する総括をするとともに次期計画に向けた分野別構想をする機会であると捉えていただきたい。計画書の作成については事務局の判断もあるかと思うが、それが有効に働くものにしていく必要がある。

[会長]

ありがとうございます。総合計画そのものが一番ベースにあって、それが各施策等にどのように紐付けられて具体的にどう動いているのかというところの全体像を、もう少し見える形で示していただきたいという、そういう理解でよろしいでしょうか。基本計画そのものは事務局の整理で良いけれども、別添でももう少し整理したもの、あるいは現在の計画でどういったところが問題であったか、その辺を整理して次期の計画にもつないでいくようなことを事務局の方で整理いただきたいということよろしいでしょうか。

[委員]

自分の分野、私ですと都市計画や公共交通などはある程度、個別計画も理解しているので、その関係はある程度わかるのですが、例えば教育や福祉の計画など、他の分野ではどう施策が進んでいくのかその展開がわかりません。総計の表裏 1 枚では、実際どういう施策群につながっていくのか具体的にわからないのでそこを工夫して、見える形で仕上げるようにしていただきたい。

[会長]

それは、審議会の委員だけではなくて、でき上がる過程、あるいはでき上がった状態において、市民が共有できる形で、ホームページ等で公開するべきだというご提案でしょうか。

[委員]

はい、そういう形です。

[会長]

その辺はご意見として承って、事務局の方で検討していただければと思います。他にご意見はございますか。

[委員]

委員のおっしゃった件で、2点目の方はまとまったと思うのですが、1点目については、まだ課題が残されていると思っています。既に第2部会は1回会議を開いておりますが、現行の計画と今回案として出てきた基本計画がほとんど変わらないものが多くあります。「現状と課題」の書きぶりもあまり変わっていないこともそうですし、「指標」も変わっていないことがありまして、恐らく他の部会でも多く見受けられるのではないかと考えています。どこが変わり、どこが変わっていないのかということは、事務局の方で確認をして、説明をしていただく際には補足していただくようお願いしたいです。そもそも10年以上前に策定した計画と全く変わらないような「指標」で、今後12年をやっていくということでのいいかどうかということは、第2部会でも言っているのですが、そもそも第2部会の話というよりは、全体に関わっての話だと思いますので、この場で言わせていただきました。

恐らくですが、「12年後の姿」をどう書くかだとか、あるいはバックキャストのことで指摘も出ていますが、そもそもバックキャストを用いながらも、今回、前回の計画とほぼ変わらないものが出てきているというのは、果たしてバックキャストを使った意味があったのかどうかということもあります。それを含めて、現行計画との比較を丁寧にしていただく必要が全体的にあるのではないかとこの意見です。どうぞよろしくお願ひします。

[会長]

ありがとうございました。全体として、事務局の方でご意見はございますか。

[事務局]

ありがとうございます。ご指摘のとおり、これは作成する際に、庁内で4つの部会を構成しまして、事務局企画課の方から、その部会において新しい計画をそれぞれ検討していただきました。当然10年前と変わらない部分もあると思いますが、そうは言っても10年間経つと結構変わる部分もあるということで、基本的には事務局企画課としては、全体をちゃんと見直していただいて新しい計画をつくっていただくということをお願いしておりましたが、残念ながら必ずしもそうになっていなくて、前回のベースのままで書かれているという部分もございます。そちらに関しましても、今ほどご指摘がございませ

たとおり、また庁内でも共有させていただきまして、さらに今後説明する際には、変更点を明示するように、特に変更点について最初の説明について明記するようということ、通知として出させていたどうかと思っております。たちまち、第1部会は月曜日ですので、そこまで徹底してできるかどうか分かりませんが、なるべく今後開催される部会からそうさせていただければと思っております。

[会長]

ありがとうございました。ということでよろしいでしょうか。今後、努力して改善いただければと思います。それでは、「全体の構成等について」の1ページ目はこれでよろしいでしょうか。次に進めたいと思います。

それでは2ページ目、「書きぶり、表現について」のところに参りたいと思います。「現状と課題」という内容がございますが、まず1つ目、文章量の均一化を図った方が良いのではないかとということでございますが、項目でいろいろ違うだろうということで均一化する考えは今のところ事務局では考えていないということですが、何かご意見ございますか。

[委員]

文章量の均一化については、事務局案が良いのですが、担当する部会では、あまりに簡潔すぎるのではないかとと思われるところもあります。例えば2-1-2「乳幼児の保育・教育の推進」は、かなり簡素になっています。部会でも、もう少し課題がないのかを検討して欲しいということをお願いしました。他にもあるようでしたら、他と比較して、重要であるにも関わらずほとんど課題が書かれていないものについては、再検討していただくことはあっても良いのではないかと思います。

[会長]

ありがとうございます。その辺も事務局の方で再検討いただければと思います。文章量ではなくて、その中の濃度の違いがあるとまずいので、濃度はそれなりに濃い目に合わせるということが良いかと思っております。

[事務局]

ご指摘のとおりだと思います。昨日開催された第3部会でもありましたが、事務局の方でも簡潔すぎると思う部分がございますので、適宜修正していただくようにと考えておりますし、できましたら審議会でもその旨ご指摘いただけますと、その分野の担当の者に直接思いが伝わると思います。ここでは均一化を図る考えはありませんとしておりますが、分野によっては書き込みが足りないところがあると思いますので、その点はその場で、もっと書き込むべきじゃないかということでご指摘いただけるとありがたいかと思っております。

[会長]

ありがとうございました。そういうことでよろしいでしょうか。それでは2項目目の、語尾の使い分けの整理や統一が必要ではないかということですが、ここで統一しようということでもとまれば、事務局の方で基準等を設けて作成することもできるということでございますが、いかがでしょうか。統一す

べきかどうか、その辺をご意見いただければと思います。ご意見ございませんか。今のままで、各部会に任せるということも一つですが、いかがでしょうか。それでは、私の提案でよろしいでしょうか。やっぱり一つのマスタープランというか、どこの部分も同じような言葉で書く方が、まとまり感があって良いと思います。従って、事務局の方で統一した方法で、基準を設けていただいて作成するというところで考えたいと思いますが、いかがでしょうか。

[委員]

私は今おっしゃったことに賛成です。先程来、いろいろとお話になっており、最初1ページ目のこととも関わるかもしれませんが、総合計画自体の自己同一性というか、誰が主体でいうことが、語尾も含めてバラバラだと、行方不明になってしまうといけないので、表記についてはやはり統一するというのも、市民の皆様とこれを読むということになった場合にでも、重要ではないかと思えます。ということで、今のご意見に賛成です。

[会長]

ありがとうございます。他の委員の方はいかがでしょうか。

[委員]

第1部会を担当させていただいております。その中で、委員がおっしゃっているのですが、先ほどの「現状と課題」にも関係しますが、現在やっていることをまだこれからもより推進する場合には、「今後とも強く推進します」など、今までをよりステップアップさせていくような語尾にされるとか、今までしていなかったけれども今後していくのであれば、「よりやっていきます」といった言葉を使うなど、今までやってきたこととこれからやっていくことを、語尾を変えて表現していただくと、市民が見られてもわかりやすい言葉になるので、統一してそういう言葉を使っていただくとわかりやすいという意見でしたので、意見を加えさせていただきます。

[会長]

事務局の方で基準をつくる段階で、委員が言われた点も含めて全体を整理するというところで良いでしょうか。ありがとうございます。そういう形で進めさせていただければと思います。

次の、彦根市ならではのポイントがわかると良いのではないかと、今何が問題かというところで、より具体的に書くか、大きな動向について書くか、施策によって差が生じる部分も一定あり、統一的な表現が難しいことも想定しておりますが、工夫・アイデア等についてご意見をいただければということですが、この点はいかがでしょう。

あと、私は「現状」と「課題」を分けてと考えたのですが、それは項目によって難しいのではないかと、このことを事務局は言っておられますので、その点は考えずに、上記の3つの点について、皆様のご意見をいただければと思います。

[委員]

書き方の問題もあるかと思いますが、前回の部会資料を見て感じたのは、各課の総括が足りていない

のではないかと。これまでの施策を充分検証した上で、どこまでが出来ていてこれから何をしていかなければならないのかという検討がなされているのでしょうか。現在進行中の施策や今後実施が確定の施策は具体的に明示されているものの、それ以外のところでは曖昧な記述等も散見され、どうしてそう構成されているのか分かりにくい部分もあります。もちろん個別計画等の中で整理されているものも盛り込んでかまわないのですが、各課で諸施策を充分総括いただいて、これからどう構想・実現していくのかをご提案いただきたい。

[会長]

どういった点が抜けているかということも、各部会で議論いただくことも必要ですし、また事務局の方で、実際にこういう状況だということを受けて、次どう展開するかということもしっかり書き込んでいただくことも必要なので、その辺部会の方でも活発なご議論をいただければと思います。

[委員]

2点あります。1点目は今委員がおっしゃったことと同様ですが、私から出させていただいている、今何が問題でどんな解決すべきことがあるのかという点が見えづらいという意見は、そもそも現状何をやっているのかということが書かれていない施策もあって、その中で何が問題でどういう取組を行わなければならないのかというところが見えない、つまり総括が足りていないということだと思えます。そこをどの施策についてもやっていただきたいということだと思っております。これについては、今会長がおっしゃったように、各部会でさらに審議をしていければと思います。

2点目ですが、ここで調整をしたいと事務局から挙がっている意図は、恐らく、計画自体を具体的な記述にしていった方が良いのか、方向性に留めるといったような形が良いのか、その点を調整してほしいということのかなと私は理解しました。その点で意見を申し上げさせていただくと、先ほどの話にも関わりますが、10年前につくった計画と「現状と課題」が変わっていなかったり、「指標」や「12年後の姿」が変わらないというのは、ある意味では普遍的な価値を示しているとも捉えられるとは思いますが、一方で、10年前と同じものをめざす姿に掲げるということは、何が計画として進んだか全くわからない計画になっているということと等しいのではないかと思います。計画を立てるのは、その姿に向かっていくために、今回バックキャストでつくるということだと思えます。とすれば、「12年後の姿」は多少大きなことを掲げても良いとは思いますが、全体の基調としては特に4年後については具体的に計画が進められるような、具体的なビジョンを持って描かれるような形にしていかなければならない部分があると思っています。その辺は、調整会議でも審議をいただければと思っていたのですが、いかがでしょうか。

[会長]

ご指摘ありがとうございます。他の委員はご意見ございますでしょうか。事務局の方で何かお考えがあればお願いできますか。

[事務局]

委員のおっしゃることを、そのとおりでと思うのですが、できましたら他の委員の皆様のご意見もお

聞きできたらと思っております。今の具体的に書いた方が良いのではないかという点に関して、他の委員の皆様のご意見を聞いていただけませんかでしょうか。

[会長]

いかがでしょうか。どこまで具体的に書くのか。10年前の計画と同じ文言では進歩がないと言うか、何が変化して来ているのかわからないというのは、ご指摘のとおりだと思いますし、あまりにも10年先を具体的に書きすぎると、変化に対応できないというところの制約も出てくる。その書きぶりをどの程度までやるかということでございます。委員のご意見いただければと思いますが、いかがでしょう。各部会で考え方が違うかもわかりませんが。

[委員]

やっぱり具体的に書くためにも、委員とかがおっしゃってるように、総合計画の人格みたいな、それがどう成長していくのかみたいな形で総合計画を理解しようとした場合には、やっぱり現在・過去・未来みたいなところはしっかりふまえて、これまでのことをちゃんと総括しふまえないと、むしろ具体的な事もその延長線上で出てこないのではないかなと思います。しかし一方で、エッセンシャルな部分というのは、変わらずに目標として掲げてというところがあるとしてもということです。総合計画は、市長が変わられるところどころ変わっていくので、過去の自分を振り捨ててということになるのかも知れませんが、やっぱりずっと暮らしている市民からすると、どういう成長過程を経て今のものになり、これからどう育っていくのかっていうことを見通す上でも、現在・過去・未来、この観点は常に持っておきたいと思います。具体的に昨日あった話では、「モータリゼーション」というような、思想なり用語が出てくるわけです。「モータリゼーションが進んで」というような用語について、委員が指摘してくださいましたけれど、今や用語的にも古いのではないかと。これから先ひょっとしたら車が空を飛ぶ時代になるかもしれない時に、あの一方では計画の中で、12年後とかって言ってる今後の中にそういう用語が出てきてることもあったりするんで、もう一度しっかり考えていかないといけないけれど、具体的に書き過ぎると、山が大外れすると、何だったのかということにもなるので、なかなか難しいなと思います。

[会長]

議論すれば、かなり時間がかかって尽きない課題ではではございますが、今までの議論をふまえてまとめさせていただきますと、やっぱり今抱えてる課題が何なのか、未来に向かっての課題が何なのかというところをしっかりと整理していただくというのがまず一つかなということと、過去・現在・未来というスタンスでどこまで書けるか、漠然と書くのは書きやすいけれども、もう少し絞った方が良いのか、その書き具合について非常に難しいところですが、事務局、今までの話で少しは掴んでいただけませんかでしょうか。

[事務局]

ありがとうございます。会長にうまくまとめていただきましたが、確かに委員がおっしゃるように、具体的なビジョンが「現状と課題」で見づらいというところがあると思います。そこを我々企画課のほ

うで、みなさまに出す前にもう少しチェックができれば良かったのですが、なかなか統一できていないところがございます。今のお話をふまえ、最終各課に直してもらう際に、当方としてもしっかりとそこを明示して、「現状と課題」に関して、10年前と全く一緒ということではなくて、しっかりともう一度10年前のものと見比べた上で、現在の課題をもう一度考えてもらいたいと思います。さらに、12年後はどうして行くのかをふまえた上で、「現状と課題」をしっかりと整理してもらい、具体的な考え、具体性をしっかりと持たせるように調整させていただけたらと思っております。最終的な調整は少し必要になるかと思いますが、ご意向をふまえて調整させていただけたらと思っております。

[会長]

もうひとつ私からの提案です。過去と現在は比較的ちゃんと書けると思いますが、そこから出てくる課題が何かということで課題を潰すことも必要ですし、反対に将来の姿を描くことによって、これこそバックキャストで何が今の課題になってくるのかという点も含めて整理いただくと、現状の延長線上での課題だけを潰すのではなくて、将来のビジョンに向かって何の障害があるかという課題に対してのアクションも取りやすくなると思いますので、その点をふまえて整理いただければと思います。それが将来のビジョン、現在の延長線上ではないところで、反対に振り返ってバックキャストが生きてくると理解しますので、その点もぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは2ページのところはよろしいでしょうか。他に何かご意見ございますか。

[委員]

基本的には大きな方向でいいのではないかと思います、それら方向に基づき、個別のところはどうなっているのかを、しっかり資料編やリンク等で提示してください。詳細は個別計画であったり、また更新されていく部分もあると思うので、そこが担保されているのであれば基本的な方向でいいのではないかと。各課、個別計画では具体的にどのように施策を実現するかということが掲げられていると思いますので、それらを紐付けていくなどの構築をよろしくお願ひします。

それと、ベンチマークやバックキャストの話がありますが、指標の設定や具体的なベンチマークをどうするかについて、最後の「その他」のところでもご検討いただきたいと思ひます。

[会長]

だいたい時間が半分ぐらいになりましたので、ここで少し休憩を取らせていただきます。5分休憩で、再開を11時20分ということでよろしくお願ひします。

(休憩)

[会長]

そろそろ時間になりましたので再開させていただきます。

それでは3ページに入りたいと思ひます。書きぶり、表現についての続きです。「12年後の姿」について、「記載内容については調整が必要と思われまふのでご意見いただきたい」という事務局のご希望もあつますが、いかがでしようか。「何をめざすという方向性ではなく、こういう姿になつていふ状態

像を記載すべき」とか、「抽象的な内容になっているため具体的にイメージできるような表現が良い」など、いろいろご指摘いただいておりますが、いかがでしょうか。

[委員]

先ほどの話ともつながりますが、やはり現状の認識が少し甘いような気がします。ですから、なんとなく深刻であるということはわかっているのですが、将来に対する政策へのアイデアがあまりないといえますか、だから「めざす姿」も抽象的で無難な表現になっていると思います。やはり、ここは目標、約束ですので、そういう意味でこれを見た時に、できるだけ市民がイメージできるように、12年後はこうなっているということが計画を見ただけでイメージできるようにすることが必要ではないかと思っております。今の書きぶりですと、抽象的なので、4年後であろうと、12年後であろうと、ほとんど同じような内容になっておりますので、「12年後の姿」が「こうなっています」とイメージできるような表現が必要かと思えます。

[会長]

「12年後の姿」がイメージできるように、「こうなっています」という書きぶりがいいのではないかと提案ですが、他の方々いかがでしょうか。

[委員]

志賀谷さんのご意見に同感ですが、「12年後の姿」と「4年後の目標」があまり変わらない施策もありますので、「4年後の目標」はもう少し具体的にするなどの工夫が全体的に必要なのではないかと思います。あと文言で、例えば、第2部会では、「地域力を高め、地域の活性化をめざします」と「12年後の姿」が書かれている施策がありますが、この「地域力」は果たして何をさすのか、どうなったら地域が活性化しているといえるのかといった説明が一切ないままで、それだけ書かれると、あまりに漠然としすぎではないかという気がします。つまり、本質的に大事にすることは変わらず「12年後の姿」が書かれるうえではある程度抽象的でも構わないとは思いますが、にしても、その「地域力」とは何かということは明確にしなければいけないと思います。他の部会でもおそらく、なんとか力とか、活性化とか、共生など、よくわからないまま漠然と使われているような用語については少し内容を示すなどの工夫が必要ではないかと思えます。

[会長]

やはり具体的なイメージができるだけつかめるような書きぶりで、「どういう姿になっている」という表現がいいのではないかとことだと思えます。他の委員の方いかがでしょうか。

それでは、今のような表現で、事務局、何かございますか。

[事務局]

それでしたら、今ほどご指摘いただいたことをふまえ、より具体的に「こうなっている」というような表現で書かせていただくように修正したいと思います。そういう方向で全面的に改訂を測らせていただきたいと思います。

[会長]

どういう状態になっていると書くことによって、書く内容がもう少し具体的にイメージできるように考慮いただければと思います。

それでは次に参りたいと思います。「主な取組」のところで、「何々を進めます」、「努めます」、「図ります」というような語尾の表現をもう少し統一した方がいいのではないか、統一する場合は事務局の方で基準を作成するなど、この点はいかがでしょうか。

これも先ほどの議論でよろしいでしょうか。基準を作成して、統一していくということでもよろしいでしょうか。

[委員]

基準を統一するというだけで構わないのですが、文言を統一するというだけでなく、「充実します」とか「努めます」という中身を意識して書いていただきたいと思います。

[会長]

先ほどのご意見も含めると、「12年後の姿」と「4年後の目標」では、「4年後の姿」は具体的に書けるはず、書かないと計画に落とし込めない、書きぶりを「12年後の姿」と「4年後の目標」は区別すべきということでもよろしいでしょうか。

[委員]

事務局、書けますか。

[事務局]

語尾の使い分けにつきましては、例えば、「何々を進めます」とした場合には、一定明確に推進していく場合や進める制度などある程度確立できており進めていくもの、「何々を図ります」はより充実する、強化する、「努めます」は可能な限り力を尽くす、努力するといった姿勢を表すなど、ある程度の使い分けはできなくはないかと思えます。ただ、委員はよくご存知かと思えますが、都市計画マスタープランのほうではかなり定義付けて明確に書き方を分けておりますが、都市計画マスタープランほどにはやはり明確な定義付けは難しい点がありますので、一定の基準を整理しますが、若干語尾のあいまいさが残ることはあるかと思えます。

[委員]

評価指標、ベンチマークについて、事務局としては定量的に数値で挙げたいということは分かりますが、数字として書きにくかったり、数字としてあまり見込みのないものについては引っ込めてしまうということがないか。数字で表せるに越したことはないですが、それよりはできるだけ施策に対してカバーできるような指標なり目標を設定することが必要ではないかと思いましたので。

[事務局]

おっしゃるとおり、数字の指標のみになってきてしまいますと、今ご意見いただいたようなことが起きてきます。事務局としては、あくまでこのシートを作成していただく際に、まず4年間の目標ありきで、4年間の目標は12年後からバックキャストした中間目標で、さらにその4年間の目標の到達具合を図るための指標があるということは常々言っております。あくまで指標というのは4年間の目標が到達できるかどうかの指標であり、指標ありきで進むものではないと考えております。

またさらに今後評価等をしていく際にも、指標の数値だけではなくて、その4年間の目標を測るものとしての指標の位置づけを重視しながら、全体の施策のことは見ていかなければならないと思っております。ご指摘のように、指標で測れるものだけがすべてではないという点は認識しております。

[会長]

それでは今の点については、もう1回事務局のほうで書かれる部署等にお伝えいただければと思います。よろしいでしょうか。

時間も進んで参りますので、次のところに移りたいと思います。「今既に行われているものとこれから新たに行っていくとするものとの区別がわからない」など3つほどのご指摘があり、現在との差別化を図っていきたいと考えておりますが、工夫・アイデア等について委員各位からご提案ご意見ございましたらお受けしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

ここはまず事務局のほうで対応いただくということでよろしいでしょうか。

[委員]

マザーレイクフォーラムなどで出しておられる冊子などでは、矢印なども使って、継続とか進めるなどを表現する工夫もされていたように思いますので、最終的に整理して出される時には、言葉だけではなくてアイコンを使うなどのやり方もあるのではないかと思います。アイデアとしてお伝えしておきます。

[会長]

ご提案ありがとうございます。その点も含めまして事務局のほうで考えていただければと思いますが、事務局、よろしいでしょうか。

[事務局]

承知しました。

[会長]

それでは3ページ一番下、「その他」に移りたいと思います。「カタカナ表記がたくさんある。みんなが理解できる計画にするため、脚注を入れるなどの工夫を」とあり、「脚注、用語解説等で対応させていただきたいと考えております」ということですが、これについて何かご意見あればお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。それではこれは事務局の方で整理、対応いただいて、また出てきた段階でご意見あれば伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは4ページに移ります。部会で重複する内容、振り分け等についてです。「今後の調整会議の議題となると考えますが、現時点でご意見あればお聞かせください」ということですが、いかがでしょうか。

部会で重複する内容について、私は両方に書いて「再掲」としたほうが、どこどこが関係しているというのもよくわかり、お互いに施策をする場合に、そこと調整しながら三遊間をどちらで補うかも議論できるので、あまりボーダー、境をつけずにまとめて、「再掲」とすることを提案させていただいております。いかがでしょうか。

[委員]

会長のご提案に賛同しますが、その点も含めて3点よろしいでしょうか。

1つ目ですが、再掲について、部会間の再掲もありますが、部会内でも施策によってかぶりがあります。施策としてはわかれているので再掲するものが結構あると思います。その点で再掲する時のルールといますか、こちらの施策のほうがより重要なのでこちらに掲載し、もうひとつのほうに再掲とするとか、単に出てくる順番にするなど、そういったルールを事務局でつくってもらえないかということがひとつです。

2つ目は、この調整会議の内容についてです。私のイメージでは、まさに部会間で重複する内容について、具体的に関係の部会にお伝えしてその部会でご審議いただくことを調整する会議と考えておりました。今回、具体的な内容についてお話してもよいのかの確認です。

3つ目は、お願いになります。今回この「重複する内容、振り分け等について」で5項目が挙がっていると思いますが、今回すべての部会の議事録案を見させていただいたところ、ここに列記されていないものが各部会でありました。毎回全ての部会の議事録を確認しようとは思いますが、事務局でもやはり漏れなく出していただくことを、可能ならしていただきたいと思います。すみません、事務局に少し負担になってしまうのではないかと心苦しいのですが、以上です。

[事務局]

1点目の再掲のルールにつきましては、整理してつくらせていただきます。

2点目の具体的な議論をしていただくことは、まさにそのとおりですので言っていただいて結構です。

3点目につきましては、申し訳ございません。抜けていたところにつきましてはご指摘いただければ追加させていただきますし、次回からすべて網羅するようにさせていただきますと思います。抜けていた部分があったのでしたら申し訳ないところでございます。

[会長]

2点目の具体的な施策の申し送り事項等、部会間だけでやられるのであれば、時間的な観点からいうとなかなかこの調整会議だけでは厳しいかと思えます。簡単に終わるようでしたらやっていただいて結構ですが、時間を要する場合は別途事務局等で時間とっていただくほうが良いかと思えますが、いかがでしょうか。

[事務局]

おっしゃるとおりでして、個別の政策に関して、調整会議外となってしまいますが、より深い議論を要するものに関しては、例えば該当する部会長様と事務局で会議を持たせていただいても良いかと思いますが、いかがでしょうか。

[会長]

いかがでしょうか。委員、簡単に終わるようでしたらご発言いただいても結構ですし、時間をとったほうが良いようでしたら頭出しだけここでしていただいて、別途時間を取って詰めていただくことも可能ですが、いかがでしょうか。

[委員]

おそらく皆様あると思いますし、私のほうからもいくつかはあります。難しいのが、この部会だけにあるという話ではなくて、結構またがるものもあります。例えば「若者の定住・移住」など、どの部会にも関わり、調整が必要なものもあり、難しいところです。例えば、本日すべての審議が終わった後に時間が残れば具体的なところについて話すとしていただいても結構です。

[会長]

そうしましたら、時間があればやらせていただきますし、無ければ議論すべき事項について、メール等で事務局のほうにご提案いただけますでしょうか。そうすると調整会議をどういう形で持つかを事務局でお考えいただけるとと思います。事務局、それでよろしいでしょうか。

それでは、そのように進めさせていただければと思います。

[委員]

各部会で3回目までは各施策を審議するようになっていきますので、当面は他の部会にまたがるであろう点はそれぞれの部会でも議論しておくということでしょうか。各部会の4回目が部会ごとのまとめのようですので、そこに向けての調整会議で、またがる部分について調整するという事です。

但し、事務局については、関連部局の方にもオンラインで構わないので接続いただきたい。都市基盤でいうと、資料にも書いていますが、農地とか集落のことで農業関係部局の方にお聞きしたいことがありますし、産業のことで商工関係部局の方にお聞きしたいこととか、観光関係でお聞きしたいこともあります。オンラインでも結構ですので、そうした施策を取り巻く状況等についてやり取りができるように接続いただきたい。うちの課では扱っていませんで終わると、計画の総合化にならないので、その点だけはよろしくお願いします。

[会長]

2つのご提案がありました。重複する議題について複数の部会で議論しておくということがひとつ、これはよろしいですね。

あと関係事務局にオンラインでもいいから繋いで質問等あれば答えていただくということについて

は、いかがでしょうか。

[事務局]

第4部会の第1回でもそうでしたが、そもそも説明員として関連部局は出ておきまして、その場で質問対応できるような体制は事務局として整えておりますので、今後もそれは続けていきたいと思っております。

[会長]

部会間に重複する内容については以上としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[委員]

今回重複する内容として5つ出していただいているのは、何か基準があつてでしょうか。各部部长等が、「これはぜひ調整会議で話しましょう」と言ったものを挙げられているということでしょうか。

[事務局]

基本的に事務局で会議録等の整理をさせていただきまして、「これは調整会議で」と部部长等に言っている点を抜き出させていただいております。

[会長]

前もって、事務局の整理を見ていただいて、各部部长が抜けているところがあればご指摘いただいて、さらに追加いただくというのがいいのかもわかりません。これを整理するのもかなり大変ですし、部部长のほうで全部洗い出すのも大変な話ですので、お互い補完しながら抜けがないように進められればと思いますのでよろしくお願いいたします。この資料が早めに皆様の所にお届けできれば、プラスアルファが可能かと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

それでは「その他」です。「主な取組」の評価はどのようにされるのかについて、「検討を重ねていきます」ということですが、ここについて皆様のほうから何かご意見ありますでしょうか。今後の進め方等に関係してくるので、今後も議論が必要かと思っておりますが、この場で何かご発言があればお受けしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それでは最後の「バックキャストがどのように生かされているのかわからない」について、「「12年後の姿」から4年後の具体的な目標にバックキャストして設定するという形をとっています」ということですが、何か皆様のほうからご意見あったらお受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。これは先ほども議論しましたように、「12年後の姿」、「4年後の目標」を書くときに、うまく書き分けていただくということでしょうか。

これで今回の議題は終わりになりますが、全体を通して皆様のほうから何かご発言があればお受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

[委員]

個別計画についてです。個別計画を数えたことはないですが、かなりあると思っておりますので、総合計画

を基に個別計画がどのように体系づけられているのか、できれば一覧でわかるようなものが必要かと思っております。一覧でという方法もありますし、施策ごとでも良いかと思いますが、個別計画の見える化が必要かと思っております。

[会長]

トータルとしてどのようになっているかについての見える化、一番冒頭で委員からご指摘あった話とも関連するかと思っております。我々委員だけが理解するのではなくて、やはり市民の方全員が理解できるように提示して行って、ホームページにも掲載するのが良いのではないかと思います。事務局はいかがでしょう。

[事務局]

おっしゃるとおりかと思っております。委員のお話もございましたので、どういう形で見える化していくかについて事務局でも検討させていただきまして、また、「こんな感じでどうでしょうか」というのは提示させていただきたいと思っております。

[会長]

他に何かございますでしょうか。

[委員]

基本的なことですが、昨日の部会の中でも一部議論がありましたのは、市長が代わられまして、いろいろ考え方が出されていますが、そのことで基本構想か基本計画かわかりませんが、何か配慮するとか、どこかの時点で方針を打ち出すなど、進め方についてどのように考えていったらよろしいでしょうか。

[事務局]

市長の意向反映の仕方について、今のところ当方として考えておりますのは、第3回までの部会で審議会の委員のみなさまからご意見をいただいて第4回で修正案を出させていただきますが、あわせて、いただいたご意見とその対応について表をつくって整理させていただきたいと思っておりますので、その表に、新市長の意向を受けて修正する点について追加し、施策ごとに新市長の意向があり対応して修正した点についてもわかるようにしまして、第4回の部会に諮らせていただけたらと思っております。従いましてみなさまのご意見と新市長の意向を融合して調整を図り、最終回に提示させていただければと思っております。

[会長]

それでは、そこで融合するということによろしいでしょうか。1年延期したということもありますので、そこは非常に重要なポイントかと思っておりますので、そのような対応になるということでご理解いただければと思っております。

他にはよろしいでしょうか。

それでは、10分程度ですが、委員のほうから、先ほどあった部会間にまたがる話、頭出しだけでもお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

[委員]

第2部会は「子育て・次世代育成・教育」に関する施策を検討する部会です。その中で、資料の「部会で重複する内容」の2つ目にあります「2-1-6 若者の定住・移住の促進」の施策について、いくつかありますので、各部会で議論いただく際にご参考いただければと思います。「若者の定住・移住の促進」に書かれている取組等のほとんどが若者の婚活支援といった内容で、とても限定的になっています。その中で部会では、そもそも定住を支援するには雇用の確保が大事で、商工業の振興、買い物のしやすさなども重要になってくるとの話がありました。この2点は第3部会が対応する内容になってくるかと思いますが、ご議論いただく際に、若者の定住・移住という側面も念頭に置きながら、あるいはどこかに盛り込めないかというご審議をいただけないかと思います。さらに定住・移住のことを考えたときには、市街地整備、インフラ、交通、公園整備なども必要となってきました、ここは第4部会が担当になってくると思いますので念頭においていただければと思っております。あとは子育て支援の視点がぬけていたので、これは第2部会の担当ですのでそこで引き取って、他の施策と総合的に若者の定住・移住を促進していかなければならないと考えます。若者の定住・移住は各部局にまたがるいろいろな施策を総合的に推進されていくことが見えるように設定されないと、ただ単に婚活を支援しただけで終わってしまうと、とても足りないし、おかしな話になりかねないので、今後ご議論いただく際に、「若者の定住・移住」を皆様に念頭に置いていただきたいということでした。他の視点で、南部での定住が難しくなっているなどの話もありましたので、第4部会の都市計画のところ意識してもらえたらと思います。

それ以外では、各部会の議事録を読ませていただいて、例えば第3部会の「歴史文化遺産の保存・活用・共生の推進」で、文化財を次世代に引き継ぐためには教育が重要との話が出ておりましたので、教育の施策のところでは話したいと思っています。他の部会でも何かありましたら教えていただきたいと思います。

[委員]

おっしゃるとおりで、昨日の部会でも、産業の分野で、仕事をつくるか雇用をつくらなければとの話が出ておりましたので、第3部会でも議論していきたいと思っています。そういう意味で、重複するところを書くだけではなくて、定住・移住ということでは、サッカーのように、ゴールに向かって各施策のパスをどう繋いでいってゴールするかという連携の表現の仕方、婚活から始まって仕事があつてとか、来てもらう・してもらう・居てもらうなどのいくつかの視点で、それぞれのフェーズで関わる施策とかアプローチが違ふと思いますので、重複する部分については特にそういう表現ができたらいいのではないかと思います。デザインの仕方でも、単に「こっち見てこっちも見てください」というのではなくて、「これこれこうパスをつないで最後ゴールする」といったような表現にするようなこともあるのではないかと感じているところです。

教育も相当あらゆるところに関わってきます。昨日も農業の話で、農業の担い手をどう育成するかという点があり、これは人材育成の話になります。また、農福連携で、引きこもりや障害の子どもが農業

に携わりながら元気になっていくということなど、農業であっても人材育成・確保が大事ということもあります。そのように、教育や定住・移住などは、すべてにわたって関わることだと理解しておりますので、引き続き、あるいは境界領域については別途議論することも必要かと思えます。新しい産業の創造もそうですが、今までの分け方では創造もできないような結び方での領域がないと考えていけないことなどもあるかと思えます。そのような視点でまたがる領域についてどうするかを考えていかないといけないと思っています。

[会長]

非常に重要なお指摘だと思います。部会に分けて議論していただいておりますが、部会の境があるわけではないので、どの施策あるいは計画あるいは話でも全部相互に関係している話題です。従いまして、各部部长、副部长におかれましては、そのあたりの連携も考えながら、ここはどのように議論されているかをお互いに意見交換しながら進められればと思っております。部会でやっていただいておりますが、部部长、副部长がそのあたりについて事務局のほうに、「これはこの部会に伝えておいてください」とか、または直接言っていただいてもいいですし、調整会議で議論すべきことはここで提案いただくということで今後も進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

まだ語り尽くせないところもあるかと思ひますが、そろそろ時間になりますので本日の調整会議はこれで終わらせていただひきたいと思ひます。1回目でございますので不十分な点多々あったかと思ひますが、改善点等も事務局のほうにご指摘いただひければと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、これにて本日の会議を終了したいと思ひます。ありがとうございました。

(以上)

彦根市総合計画審議会 第1回調整会議 出席委員名簿

(五十音順・敬称略)

第1部会

◎：部会長

担当分野：人権・多文化共生・健康・福祉・医療・生涯学習

○：副部会長

所属等	氏名	
聖泉大学 准教授	安孫子 尚子	◎
社会福祉法人彦根市社会福祉協議会 事務局長	高橋 嘉子	○

第2部会

担当分野：子育て・次世代育成・教育

所属等	氏名	
株式会社千成亭風土 取締役	上田 美佳	審議会副会長
滋賀県立大学 准教授	原 未来	◎
彦根市小・中学校長会 稲枝北小学校 校長	山本 かおる	○

第3部会

担当分野：歴史・伝統・文化・観光・スポーツ・産業

所属等	氏名	
滋賀県立大学 講師	上田 洋平	◎
彦根商工会議所 専務理事	志賀谷 光弘	○

第4部会

担当分野：都市基盤・環境・安全・安心

所属等	氏名	
NPO法人日本防災士会滋賀県支部湖東ブロック 代表	笠原 恒夫	○
滋賀県立大学 准教授	轟 慎一	◎

部会に所属しない委員

所属等	氏名	
滋賀県立大学 理事長	廣川 能嗣	審議会会長